

都市計画学会全国大会
「日本都市計画学会のビジョンを展望する」

シンポジウム開催の経緯

公益社団法人日本都市計画学会
会長 渡邊 浩司



1

背景・経緯

■ 2024年度総会・理事会において学会長としての活動方針を提示

「1. 社会課題の変化」「2. 価値観の変化」「3. 人々の変化」という3つの変化への対応に、産官学民が連携して取り組む

■ 2024年度会長アドバイザー会議の意見

都市計画の領域やあり方の変化について議論を行い、それを踏まえた学会のありかた（ビジョン）を明確に打ち出す必要がある

■ 2025年度総会・臨時理事会で学会ビジョン策定の方針を提示

2026年の学会設立75周年を期に日本都市計画学会としてのビジョンを策定することを提示



2

検討体制及び進め方

■ 検討体制

- ・ 会長を委員長とする75周年事業特別委員会を設置し、その部会として「学会ビジョン検討タスクフォース（TF）」を組成
- ・ TFコアメンバーによる集中的な議論を行い、ビジョン案を作成し、意見聴取

■ 進め方

- ・ 会員・非会員に対するアンケート実施（8月～10月）
- ・ 全国大会でシンポジウム開催（11月）
- ・ 会長アドバイザリー会議での意見聴取（2026年1月）
- ・ 支部等からの意見聴取、理事会での議論等を経て決定
- ・ 75周年事業として、学会ビジョンに関するシンポジウム開催を目指す

